

ゲスト：こ ん ど う 近藤 あ き ら 光さん

認定 NPO 法人 ACE (エース) ガーナ・プロジェクトマネージャー

1973 年生まれ。名古屋大学大学院国際開発研究科博士前期課程修了。アムネスティインターナショナル、アフリカ日本協議会でインターンを経験したのち、青年海外協力隊員としてガーナとウガンダに赴任。その後社団法人国際農林業協働協会アフガニスタン国立農業試験場再建計画プロジェクト国内支援担当)、株式会社オリエンタルコンサルタンツ (ウガンダ国第二ナイル架橋詳細設計案件現地業務調整員) を経て、2012 年 4 月より現職。ガーナ・プロジェクトマネージャーとして、年に 2~3 回ガーナに渡航してモニタリングを行う。

参加者の「声」(アンケートより)

「一方的に助けるのではなく互いに助け合うという言葉がとても素敵だなと思いました。」

「本とか、インターネットで児童労働やガーナについて調べるのには限界があるので、実際に現地で過ごした方の、現地の今の状況の話は、すごくすごく学べるものがたくさんありました。たしかに、先進国とか途上国とか、助けてあげているみたいな感じに考えてしまうのはおかしいと思いました。また、私はガーナの中でも、貧富の差が拡大していることに驚きました。そして、急速に発展している地域の人々は、スマホからしか知らない。携帯を知らない、というような話を聞いて、その方向から考えたことがなかったので、衝撃でした。もう少しそれを自分でも考えてみようと思いました。素敵な話をしてくださり、ありがとうございました。」

「金額関係なしに、本気でやれば相手も本気で取り組んでくれるというのが非常に印象的でした。支援する側はどうしても上から目線になってしまいがちですが、本当に大切なことは、本気になって問題を解決しようという姿勢なのだと思いました。」

「」